

## 令和5年度 学校関係者評価報告書

課題、改善方策については、学校関係者評価委員の方々に助言、提言していただいた。

### 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・入学者の増加を目指し、ホームページはこまめに更新し、学校情報を常に最新の状態に保つ。SNSを強化し、若年層に効果的にリーチできるようにする。

(委員の意見) 現代の情報の収集方法においては、特に若年層においてはスマートフォンが主流となっているため、この点に留意することが重要である。SNS更新が滞りがちだが、不定期更新ではなく、毎週決まった曜日に更新するなど、スケジュールを決めてはどうか。学生にも協力してもらい、作業動画などを配信するなど、工夫の余地はあるのではないか。

・教職員の技術力と指導力向上及び研究時間の確保。教職員の専門知識や教育技術を向上させるための研修会を開催する。社会の動向や、トレンドを取り入れ、生徒への指導の質を高めることを目指す。

(委員の意見) 研修会は単なる知識の習得の場ではなく、教職員同士の情報交換の場としても重要だ。また、研修の内容は教職員のニーズに合わせて柔軟に対応し、実践的なスキルを身につけることができるよう工夫する必要がある。

(委員の意見) 教職員の無駄な業務は外注したり、ITを導入したりして、教員は研究時間を確保することが望ましい。というのも、ファッションにはこれといった正解はなく、また、表現方法も多様化している。学生が求める、我々には想定外の表現方法にも応えて行けるよう、教員の時間的な余裕は必要である。

・PDCA(計画、実行、評価、改善)サイクルについては、自己評価を教職員で確実に共有し、共通認識のもと実施する。3S(整理、整頓、躰)については、教職員が率先して行い、生徒に指導する。

(委員の意見) 3S(整理、整頓、躰)の重要性は、どのような仕事についても言えることで、学生時代に身につけることが出来れば、将来にわたって役立つことである。特に期日の意識や、情報共有の重要性の理解は学生時代にしっかりと身に付けておくべきことだ。

・撮影会やショー、イベントを実施し、普段とは違う環境を作る等して、学生のモチベーションアップにつなげる。

(委員の意見) 上級生と下級生が交流する機会にもなり、良い影響があると思われる。特に外部の方と関わってイベントを実行する際には、学生達は引き締まった行動が出来る。

・企業連携の強化 企業と連携し、学生が実践的なスキルを身につけられるように指導する。

(委員の意見) 企業との共同プロジェクトを通じて、学生は自身のアイデアを実際のプロダクトに反映させる実践的な経験を積むことができた。さまざまな企業と連携することで、物事を多角的に考える視野が養われると期待される。また、新たな企業とのコラボレーションを実現するために、企業との連携を続けるべきだ。

・ファッションを学ぶ学生として、持続可能な社会の実現に向けて自分は何が出来るのか、思考と実行を促す。

(委員の意見) 近年のファストファッションは大量生産大量消費を前提としたもので、環境への負荷が世界的な問題となっている。SDGsへの意識が高まる中で、若者の価値観の中で

は古着はカッコいいものであり、ファッションナブルなリメイクも注目を浴びているようだ。服飾を学ぶ学生にとっては、今までとは違ったビジネスチャンスがあるのではないか。例えば、アメカジの古着は高額で取引され、ミリタリーや制服も人気を集めている。リメイク市場も活況だ。リメイクについては、法的な規制について理解し、適切な方法でアイデアを実現できるよう指導しておいてはどうか。

・学生が思考を深め、解決してゆく実力をつけられるよう、教師はサポートしながら、**試行錯誤を促す。**

(委員の意見) 沢山の提出物がある中では、早く作品を仕上げて提出することが目的化してしまいがちだが、重要なのは作品の完成速度ではなく、学生自身が成長することだ。学生時代に試行錯誤を通じて技術と思考力を鍛えることは、実社会で必ず役に立つ。

教師は安易に答えを与えず、かといって放置せず、学生に試行錯誤を促し、解決へと導く努力をする。

・学生が希望する就職が叶うよう、サポートを強化する。

(委員の意見) AO エントリー文の添削や、面接の指導など、学生に寄り添った指導を引き続き行う。